

基本方針1 市民、事業者との連携を強化し、協働による取組を進めます。

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
1	1-1-1	委員A	高校生の「探求」の科目でごみ問題を採り上げてもらうというのはいり取り組みだと思います。情報提供で終わりにせず、具体的なテーマについて実際に高校生に課題解決のための探求をしてもらえるようにするとよいでしょう。高校生版のまちだ3R賞を作ってもよいと思います。	環境政策課 (3R推進係)	年間を通して探求の授業でごみ問題や環境をテーマに取り組んでもらい、学校で取り組める具体的な内容を実施していただけるよう見直ししていきます。具体的な成果が出てきた際には、優良事例を横展開できるように検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
2	1-1-1	委員C	「イベント出展」については、目標値を大幅に超えて実施できた点は、非常に評価できる。一方で、2024年度の目標の中で、「町田市バイオエネルギーセンターでの出展」や「オンライン講座」が2023年度よりも目標回数が減っている。昨年度実績にあわせて目標値を変更したのだと思うが、できるだけ高い目標になるよう、設定値を考えるとよいのではないかと。なお、「町田市バイオエネルギーセンターでの出展」の内容が3R公開講座である点は昨年度と同じであるが、見出しが「町田市バイオエネルギーセンターでの3R公開講座」から「町田市バイオエネルギーセンターでの出展」へと変更になったのは、昨年度とは実施方法を変えるなどの変化を想定しているためなのであろうか。	環境政策課 (3R推進係)	目標値については、効果的な啓発ができるような目標としました。また、「町田市バイオエネルギーセンターでの3R公開講座」から「町田市バイオエネルギーセンターでの出展」へと変更になったのは、講座を中心とした啓発から、出展ブースで行うごみ減量・資源化の啓発に内容の見直しを行ったためです。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	2024年度の指標について、表現のあいまいさを回避するために、「町田市バイオエネルギーセンターでの3R公開講座」から「町田市バイオエネルギーセンターでの出展」へ修正しました。
3	1-1-1	委員I	小中学生への啓発が家庭内での啓発につながることで充実してほしい、子供たちはDVDやスライドなどよりも現物に触れながら学習することが効果がある。学習の仕方にも工夫がほしい。コンポストやキエーロなどを使った実験を取り入れるなど。	環境政策課 (3R推進係)	講座の内容については、小中学校の担当教諭と相談し、現物に触れながら学習する方法も提案して実施を検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
4	1-1-1	委員G	【3R学習の充実】取り組みには問題ないが、実際に効果があるかどうかの確認方法が必要ではないか。	環境政策課 (3R推進係)	効果の確認方法の必要性は認識しております。具体的な効果等については、他の施策と合わせて検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
5	1-1-1	委員L	中学・高校での出前講座を継続して下さい。オンライン講座の実施に関する課題に対処して下さい。	環境政策課 (3R推進係)	多くの中学・高校で出前講座を実施できるよう学校や関係部署に働きかけていきます。オンライン講座は課題を踏まえ募集期間、周知方法や対象者等を検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
6	1-1-1	委員M	3R、食品ロス削減などの意識の醸成、その後の行動変容を数値化・可視化することは、むずかしいと思われる。国や他市町村の数値化・可視化の好事例を知りたい。	環境政策課 (3R推進係) (ごみ政策係)	ご指摘のとおり、啓発の効果を測るのは難しく、例えば「町田市食品ロス削減推進計画」では、目標に対して数値を積み上げるのではなく、「食品ロス削減対策を行っている市民の割合」などアンケートによる指標を定め、効果を測っています。引き続き国や他市町村の事例研究を行い、好事例があれば審議会でも紹介してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
7	1-1-1	委員H	公開講座やオンライン講座以外の各指標は目標値を上回る実績を行えたので大変良いと思う。今後は設定した目標値を超えた実績を生み出した後、どの指標は想定より効果が高いのか低いのかを協議して、高いのであれば例えばそこに注力してみるとか、低いのであれば中身をえてみるなど、数値的な目標の上にある「目的」を達成できる適切な手法に変化させたりメリハリをつけていくことが必要となってくる。	環境政策課 (3R推進係)	公開講座の見直しや成果等を踏まえ、いただいたご意見を参考にし、施策の目的を達成できるような手法を検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
8	1-1-2	委員G	自治会に関しては、自治会へ入会しない方や、脱退する方も多いため、自治会内での連携が取れていない等、より多くの市民に周知できない状況となっているのではないかと。したがって、まずはその状況確認をするためのアンケートをとり、対策を練る必要があるのではないかと。	環境政策課 (3R推進係)	2023年度に実施したごみ減量サポーターへのアンケート結果を生かし、ごみ減量サポーターの活動について町内会・自治会への周知に努めます。また、町内会・自治会加入者以外への周知方法についても検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
9	1-1-2	委員B	3Rリーダーへの活動支援として、ごみ減量サポーターと連携した活動についても考えてよいのではないかと。	環境政策課 (3R推進係)	3R市民リーダーには活動の企画段階から参加してもらいたいと考えています。また、町内会・自治会の出前講座においてごみ減量サポーターと連携した活動を検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
10	1-1-2	委員I	「ごみ減量サポーター」は自治会町内会が中心となるものだが、各自治会町内会に対するアピールが足りない。もっと熱心に取り組みたいと考えているところが多くある。	環境政策課 (3R推進係)	ごみ減量サポーター活動報告書やアンケート結果をホームページに掲載し、多くの市民にごみ減量サポーターの活動内容を周知してまいります。また、好事例を取上げ、ごみ情報誌「ごみナクナール」やSNS等で紹介してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

基本方針1 市民、事業者との連携を強化し、協働による取組を進めます。

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
11	1-1-2	委員K	ごみ減量サポーターの存在が市民に認知されていないのは、自分が住む地域のごみ減量サポーターが誰で、実際にどんな活動をしているのかを知らない人が多いからだと考える。2024年度の取組方針・内容に、「2023年度の活動報告書とアンケートの結果を踏まえて（中略）市民への認知度向上を図り」とあるので、活動報告書とアンケートの結果を審議会でも報告していただきたい。また廃棄物減量等推進委員（ごみ減量サポーター）制度は全国の自治体で導入されているが、静岡市のように定期的に活動報告会を開いたり、活動事例をWebサイトで公開している自治体もある。町田市ではゴミ減量サポーターニュースに一部情報があるが、市のWebサイトに公開されているのは2022年9月発行が最後で、内容もわずか1ページで1事例しか載っておらずもっと積極的な取り組みが望ましい。	環境政策課 (3R推進係)	ごみ減量サポーター活動報告書やアンケート結果をホームページに掲載し、多くの市民にごみ減量サポーターの活動内容を周知してまいります。また、好事例を取上げ、ごみ情報誌「ごみナクナーレ」やSNS等で紹介してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
12	1-1-2	委員L	ごみ減量サポーターへの支援は理解できるが、市民に対する活動内容が不明です。	環境政策課 (3R推進係)	ごみ減量サポーター活動報告書やアンケート結果をホームページに掲載し、多くの市民にごみ減量サポーターの活動内容を周知してまいります。また、好事例を取上げ、ごみ情報誌「ごみナクナーレ」やSNS等で紹介してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
13	1-1-2	委員M	市民グループが企画運営する3R事業を募集し、潜在的な担い手を発掘する。企画運営の実績を踏まえて、「3R市民リーダー」に認定するなど、新しい取り組みを期待したい。	環境政策課 (3R推進係)	他自治体の取組状況やいただいたご意見を参考に検討してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
14	1-2-1	委員L	食べきり協力店側の具体的なメリットを明確にしてください。	環境政策課 (3R推進係)	食品ロス削減に貢献している店舗として認知されることでお店のイメージアップにつながります。引き続き、認知拡大に向けた周知方法を検討してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
15	1-2-1	委員J	リサイクル推進店について、市内の地域ごとの実施の偏りがなくなるよう実施する方法も考えてみる必要があるのではないかと。	環境政策課 (3R推進係)	いただいたご意見を参考に、リサイクル推進店の空白地域がないように、ご協力いただける店舗へのPRの検討を進めてまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
16	1-2-1 (当日意見)	委員B	容りの周知の手法について、事業者との協働の取り組みも含めて現在ほどこまめに検討している状況か。	環境政策課 (3R推進係)	市全域での分別収集開始に向けて、スーパーで行うごみ分別キャンペーンなどを検討してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
17	1-2-2	委員I	大学と連携した取り組みでは、玉川大学との連携をやってほしい。玉川学園では幼稚園児から学生まで熱心に学んでいます。「百聞は一見に如かず、百見は一労作にしかず」は創立者小原國芳の言葉。	環境政策課 (3R推進係)	玉川学園の環境への取り組みは、まだ3R賞受賞を機に認識しております。EOO to フェスタへの出展など関わりを持っていますので、ごみ減量・資源化への周知に向けた取組を検討してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
18	1-2-2	委員L	大学との連携で、学生に対する分別の啓発を積極的に進めてください。	環境政策課 (3R推進係)	若い世代に対するごみ減量意識の向上に向け、大学（学生）と連携し、啓発方法を検討してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
19	1-3-3	委員C	SNSの情報発信の回数を増やし、多くの人に情報を届けようとする点は非常に評価できる。今後は閲覧数等の分析なども行い、発信した情報がどの程度届いているのか等についても、検討してもよいのではないかと。	環境政策課 (3R推進係)	SNSの閲覧数やフォロワー数を増やすため、どのような情報に対して閲覧数が多いのか等を確認し、情報の発信内容を工夫してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
20	1-3-3	委員F	情報発信で結果を見える化できる。YouTubeなどは閲覧件数などを教えてほしい。	環境政策課 (3R推進係)	閲覧数、フォロワー数の詳細につきましては、実績を確認しホームページで報告してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>
21	全体	委員D	いずれの取組も具体的なごみ減量などへの効果が評価しにくいいため、どの手法が特に効果が出ているか分かるようになることを望む。 例えば2023年度は、1-3-3でSNSなどの情報発信が、目標の2倍以上実施されていて、その他は目標（前年）通りになっているので、直近で何らかの変化が出ていないかなど検討してみても良い。	環境政策課 (3R推進係)	効果の具体的な評価については今後の課題だと認識しております。引き続きSNSの閲覧数やフォロワー数を把握し、どのように発信していくことが効果的なのか検討してまいります。	有	<input checked="" type="radio"/>

基本方針2 家庭系ごみの減量を進めます							
No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
1	2-1-1	委員D	コンポスト等生成物の市としての考え方が明確になっていない。タンポールコンポストや集合住宅の処理機利用など、状況を丁寧に確認し、実施しにくい理由などを把握することが望まれる。	環境政策課 (3R推進係)	生ごみ処理機等購入費補助制度利用者に対するアンケート結果や大型生ごみ処理機の利用団体からの意見を参考に、コンポスト等からの生成物の活用方法等について検討してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
2	2-1-1	委員I	ごみの総量は重量であらわされている。この中でも家庭系が約6割を占める。総量を手っ取り早く減らすには家庭系の量を減らすことで、水切りと家庭用生ごみ処理機が効果がある。まずは、この対策に徹底的に力を注ぐのも効果があると思われる。	環境政策課 (3R推進係)	水切りキャンペーンや家庭用生ごみ処理機等購入費補助について、引き続き実施してまいります。いただいたご意見を参考にごみの減量について対策を検討してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
3	2-1-1	委員L	生ごみの発生抑制として、ティスポーザー設置の補助制度を検討して下さい。	環境政策課 (3R推進係)	ティスポーザーを設置することにより下水への排出が懸念されるため、補助制度は考えておりません。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
4	2-2-1	委員A	昨年度、「①-2 マイボトルOK店の増加策について、②次年度に向けて、それ以外の方法でも店舗数を増やせる取り組みがないか検討」と書かれていますが、その結果が記載されていません。店舗数も伸びていないので、商工会議所経由で会員事業者にも協力を呼びかけていただくなど、追加の対応が必要ではないでしょうか。」と書きましたが、具体的な進展がありませんでした。一歩踏み込んだ対応が必要ではないでしょうか。	環境政策課 (3R推進係)	ご指摘の通り、商工会議所などに、会員事業者への働きかけができる場を協力いただけるよう相談してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
5	2-2-1	委員B	指標①-2 の実績値をみると減少している。なぜ減少しているかについての検証が必要ではないか。また、利用を進めるためには情報提供だけでなく、利用しない人たちの意見を聞くことができると新たな展開につながるように思う。	環境政策課 (3R推進係)	昨年度、2店舗が閉店したため登録数が減少しています。利用促進のために幅広く意見を聞きながら検討してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
6	2-2-1	委員C	マイボトルが利用できる店舗数は数年間、変化がないので、昨年度と同じ（あるいはここ数年間と同じ）方法で周知してもこれ以上の変化はないのではないかと考えられる。声かけの対象を変える、あるいは指標を変更する（指標を増やす）などについても検討する必要があるのではないか。	環境政策課 (3R推進係)	周知方法に関しては、商工会議所などに、会員事業者への働きかけができる場を協力いただけるよう相談してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
7	2-2-1 (当日意見)	委員D	実際に焼却していないものまでCO2削減量で成果を記載するのはどうなのか。	環境政策課 (ごみ政策係)	今後は、事業内容や目的、成果を誰に届けるかなどを踏まえて、適切な記載方法を選択してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
8	2-2-1	委員D	マイボトルが利用できる店舗や公共施設だけでなく、市内の公共性の高い民間施設（鉄道、バス、関連）などへの給水スポットの拡充に向けた働きかけを増やすことも重要であると考えます。	環境政策課 (ごみ政策係) 環境政策課 (3R推進係)	各事業者との情報交換や事例研究をしながら、公共性の高い民間施設への給水スポットの拡充を研究してまいります。また、市民周知の際は、マイボトルOK店だけでなく、給水スポットの情報提供も検討してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
9	2-2-1 2-2-2	委員I	プラスチック系のごみの発生抑制は、これだけ大量に多用にプラスチックが使用されている状況の中、個人の努力ではかなり難しいと思われ、資源化の推進しかない。分別を分かりやすくする工夫に注力してほしい。	ごみ収集課 環境政策課 (3R推進係)	使い捨てプラスチックの代替品に関する情報提供なども引き続き行い、プラスチックごみの発生抑制に努めます。加えて、ごみ分別アプリや市ホームページなど複数の媒体で分別方法の案内を行い、案内内容についても、市民からの問い合わせなどを基に、引き続き随時見直しを行ってまいります。また、プラスチックごみの分別を、資源化施設現場の見学を通して、視覚的に体験的に分かりやすく実感する市民向け見学会を開催しております。引き続き、わかりやすい分別の周知ができるよう、調査研究してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
10	2-2-2	委員D	製品プラに関して注視し、早めのプラスチック資源化方法などを検討することが必要である。	環境政策課 (ごみ政策係)	現状では、近隣に製品プラスチックの中間処理を行える事業者がいませんが、事業者が見つかった場合は、製品プラスチックをきんだプラスチック類の分別回収・資源化を開始する予定です。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
11	2-2-2	委員G	容器包装プラスチックの分別について、年配者が把握できるように周知方法の検討が必要なのではないでしょうか。	環境政策課 (ごみ政策係)	2026年度に開始する容器包装プラスチックの全市分別収集開始に向け、年代・地域等を考慮しながら周知方法を検討してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	

基本方針2 家庭系ごみの減量を進めます

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
12	2-2-2	委員K	2026年度から市全域で容器包装プラスチックの収集・資源化の方針が決まったが、それまでに現在の収集地域での分別協力率を上げることが重要である。説明会や出前講座も意欲はないが、ここに来ない市民には伝えられない。最優先で取り組むべきは、ゴミ分別アプリの充実ではないか。登録情報を横浜線以南の地域にしてゴミ分別アプリを使ってみたいところ。「容器包装プラスチック」という項目が表示された。しかしその後に表示される内容は、市のWebサイトの容器包装プラスチックに関する説明に比べてかなり少なく、「中身（商品）を取り出した後、使い切った後不要となるプラスチック製の容器（入れもの・袋）や包装（包み）」という定義やプラマークの説明もない。	環境政策課 (3R推進係) ごみ収集課	いただいた意見を参考に、容器包装プラスチックの項目を、正確でわかりやすい説明になるよう、ごみ分別アプリを更新してまいります。また、媒体ごとの説明の違いについて、見直し、統一化をしていきます。	有	<input type="radio"/>
13	2-2-2	委員K	取組経過によれば「容器包装プラスチックの分別協力率について、多摩26市に調査を実施した」とあるので、分別率が高い市の取組内容を審議会で報告していただきたい。	環境政策課 (ごみ政策係)	2026年度に開始する容器包装プラスチックの全市分別収集開始に向け、周辺自治体の取組内容の調査を行い、好事例があれば、容器包装プラスチックの全市での収集・資源化に関する報告とあわせて紹介し、周知啓発の参考にしてまいります。	有	<input type="radio"/>
14	2-2-2	委員K	町田市はプラスチックごみの分別の仕方がわかりづらい。「収集カレンダー」には燃やせるプラスチックごみとして「発砲スチロール、スナック菓子の袋」、燃やせないプラスチックごみとして「プラスチック容器、シャンプーボトル」しか載っていない。「ごみ分別アプリ」には燃やせるごみとして「やわらかいプラスチック製品」、燃やせないごみとして「硬いプラスチック製品（ボトル・容器・パケツなど）」とあるだけで説明不足。一方、ごみの品目を入力して燃やせるごみか燃やせないごみかを判別する機能は充実している。	ごみ収集課 環境政策課 (3R推進係)	2026年度に開始する容器包装プラスチックの全市分別収集開始に向け、アプリ内のプラスチックごみに関する表記・分別方法の案内や検索機能がより充実したものにしよう。これまでの市民からの問い合わせ対応を基に見直しをまいります。カレンダーについては、ページ数を増やし、イラストや写真などを交え、わかりやすい工夫をいたします。それでも分別方法が確認できない場合のために、お問い合わせ先も掲載しております。また、アプリについては、高齢者の方にも利用していただけるよう、操作方法も含めて啓発できるよう検討いたします。	有	<input type="radio"/>
15	2-2-2	委員L	2026年度より市全域での実施される、容器包装プラスチックの収集・資源化の周知啓発を徹底して下さい。	環境政策課 (ごみ政策係) (3R推進係)	2026年度に開始する容器包装プラスチックの全市分別収集開始に向け、町内会・自治会への説明会を始めとして様々な手段で周知・啓発を行ってまいります。	有	<input type="radio"/>
16	2-2-2 (当日意見)	委員J	自分の居住地域には高齢者が多く、アナログなものに頼るため、アプリよりも収集カレンダーを確認するが、そこでは分別方法が詳細に乗っておらず、文字も小さい。	ごみ収集課 環境政策課 (3R推進係)	カレンダーについては、ページ数を増やし、イラストや写真などを交え、わかりやすい工夫をいたします。それでも分別方法が確認できない場合のために、お問い合わせ先も掲載しております。また、アプリについては、高齢者の方にも利用していただけるよう、操作方法も含めて啓発できるよう検討いたします。	有	<input type="radio"/>
17	2-2-2 (当日意見)	委員A	組成調査の結果をもとに、適正・不適正排出の割合を公表している自治体もあるので、参考にしてみてもどうか。	環境政策課 (ごみ政策係)	他自治体の事例を参考に、組成調査の結果の効果的な発信方法を検討してまいります。	有	<input type="radio"/>
18	2-2-2 (当日意見)	委員A	ごみ分別アプリについてAIを搭載したものを導入している自治体もあるので、ご参考までにご確認ください。	(3R推進係)	ご意見を参考にごみ分別アプリについて、他自治体の導入モデル等を研究します。また現在使用のアプリについて、機能の変更などを業者と調整してまいります。	有	<input type="radio"/>
19	2-3-1	委員L	バイオセンター内の店舗を、外周道路から分かり易くして下さい。また、粗大ごみ再生販売品目の増加を検討して下さい。	環境政策課 (3R推進係) 循環型施設管理課 循環型施設整備課	外にのぼりや横断幕を設置するなど、外周道路からわかりやすくなる方法を検討してまいります。再生販売品目については、品目の制限はありませんが、粗大ごみの中から使用可能な物を再生販売しているため、品揃えには偏りが生じることもあります。売れ行きを動員しながら、多様なラインナップとなるように努めます。	有	<input type="radio"/>

基本方針2 家庭系ごみの減量を進めます

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
20	2-3-1	委員F	ジモティーとの連携で再販量が増えたこと大きな1歩だと思います。 市とジモティーの販売促進次第で来期の目標125トンを実現できる。	環境政策課 (3R推進係)	株式会社ジモティーをはじめとした企業や地域団体との連携を強化し、引き続き、販売促進に努めてまいります。	有・無	
21	2-3-2	委員A	昨年度、「①雑紙分別については、調布市ではシュレッダーにかけた紙も回収するようになりました。こうした追加的施策を検討いただくとよいでしょう。」と書きましたが、特に検討いただいた形跡がありません。	環境政策課 (ごみ政策係) (3R推進係) 循環型施設管理課	追加的施策としては、アルミ付き紙バック等、難再生古紙の回収。資源化について、複数の事業者との意見交換を実施しましたが、費用やリサイクルの確保などの課題から、実施には至っておりません。また、シュレッダーにかけた紙は、既に古紙(雑紙)として回収していることやアルミ付き紙バックは、リサイクル広場で回収していることを、イベントや出前講座で周知してまいります。	有・無	
22	2-3-2	委員B	すべて目標値を下回っている。雑紙の分別に関しては、前年度のほぼ1/2だが、SNSを活用して繰り返し情報を発信することはそれほど困難ではないと思うがいかがだろうか。同様にリサイクル広場や店頭回収についてもSNSの活動を進めていくことを検討してほしい。	環境政策課 (3R推進係)	いただいた意見を参考に、雑紙の分別・資源化についてや、リサイクル広場や店頭回収の周知に関して、より積極的なSNSの活用を行います。	有・無	
23	2-3-2	委員C	取り組み対策の中に「情報発信」と「情報提供」の2種類があるが、これはどのように異なるのか。	環境政策課 (3R推進係)	大きな違いは意図せず記載していましたが、同一の内容を示す場合に誤解を招かないよう努めてまいります。	有・無	指標に合わせ「情報提供」に統一しました。
24	2-3-2	委員F	資源の効率的な利用を求められる時代でリサイクルは事業として進む一方、行政として回収を強化するのではなく、企業にサポートしてもらうことで市の運営の負担が減ると思います。地元企業と協力する方法を模索するの必要。	環境政策課 (3R推進係)	現在、地元企業をはじめ、多数の企業に事業の協力をいただいております。引き続き、企業との連携強化を検討してまいります。	有・無	
25	2-3-2	委員G	リサイクルの推進 指標、目標値に問題があるわけではないが取り組み経過及び1年の総括でSNS出前講座の各情報誌の周知方法の検討をする必要があるのではないだろうか。	環境政策課 (3R推進係)	いただいた意見を参考に、より市民にとって効果的な周知ができるよう、検討してまいります。	有・無	
26	2-3-2	委員J	・リサイクル広場の周知をより一層する。 ・小売店などの店頭回収の情報発信をより実施できないか。	環境政策課 (3R推進係)	リサイクル広場の周知について新たに図書館や子どもセンターをはじめ、市内公共施設にパンフレットを布置します。また、小売店などの店頭回収について、SNSやホームページで情報発信してまいります。	有・無	
27	2-3-2	委員L	リサイクルの推進に関して、目標値を達成できるよう検討して下さい。	環境政策課 (3R推進係)	目標値を達成できるよう事業計画を進めてまいります。	有・無	
28	2-4-1	委員C	ごみ処理手数料の見直しの検討については、次年度の見直し完了に向けて、どの程度の進展具合なのか。	環境政策課 (ごみ政策係)	周辺自治体について情報の聞き取り等を行い、見直しをするかしないかを含めた判断をするための材料を収集しています。	有・無	
29	全体	委員H	多くの施策を打っており、その効果も現れていると感じるが、一方でこの取り組みを知らない市民が多くいると思います。認知度や施策の参加者を上げる工夫が必要です。また、環境に良いということももちろんですが、日々の生活を一生懸命行っている市民にとってはゴミの減量活動をするこである種のメリットがあるというようなお得感を感じないと行動に移せない方もいると思うので、そういった目に見えるメリットを何か提示できるといいと思います。	環境政策課 (3R推進係) (ごみ政策係)	実施している取り組みについて、成果の公表などを含め周知・啓発を引き続き行っていきます。また、ごみの減量を行うことで必要となるごみ袋が減り、家庭への費用負担が減少することを伝えるなど、市民のごみ減量に対する行動意欲を高める啓発を検討してまいります。	有・無	

基本方針3 事業系ごみの減量を進めます							
No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
1	3-1-1	委員I	大規模事業所に対しての立ち入り、現状確認はしっかりされているようだが、問題は中小企業だと考えられる。中小企業は適正排出まで注力する余裕がない。いかに指導していくかを検討してほしい。	環境政策課 (3R推進係)	中小企業に対しては事業系一般廃棄物講習会や食品衛生講習会にて周知しております。今後はより多くの事業所に出席いただけるよう周知方法を検討し、適正排出指導を行ってまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	
2	3-1-1	委員J	検査で不適正排出があった事業者への指導・啓発の強化をすべきではないか。	環境政策課 (3R推進係)	不適正排出事業所に対しての指導は随時電話にて行っており、改善されない場合には訪問による指導を行っております。また、コロナ前は不適正排出に関して、注意書や警告書の発行、ごみの持ち帰りや適正処理報告書の提出を求めておりました。今後は、それらの対応を検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	
3	3-1-1	委員L	事業系廃棄物の出し方を事業所に徹底して下さい。	環境政策課 (3R推進係)	市作成の事業系廃棄物適正処理ルールブックにて、事業系一般廃棄物講習会及び食品衛生実務講習会などで周知しております。事業所において一般廃棄物と産業廃棄物に関する知識が不足していることは事実として把握しておりますので、インターネット等を活用したオンラインでの事業者向け講習会の開催を検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	
4	3-1-2	委員G	既存受賞者の取り組みが維持、継続できているか確認結果を明記したほうがいいのではないのでしょうか。	環境政策課 (3R推進係)	市内事業所の優れた取組みを年度ごとに表彰する制度となっているため、既存事業所の取組みなどの確認は行っておりませんが、今後また3R賞の見直しの際の参考にさせていただきます。	有 <input checked="" type="radio"/>	
5	3-1-2	委員L	まだ3R賞・準まだ3R賞の具体的なインセンティブを検討して下さい。	環境政策課 (3R推進係)	インセンティブについては、各種広報媒体で周知をおこなうとともに、他事業所への立入り時に優良事例として周知していきます。今後は、事業所にとって魅力のある賞としていくため、引き続き検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	
6	3-1-2 (当日意見)	委員C	9者が申請をして9者全て受賞しており、それは素晴らしいことだが、今の記載では「出せばとれる賞」に見えてしまう。しっかりとそれぞれの受賞団体が優れた取組をしていることが感じられるような記載になるよう注意してください。	環境政策課 (3R推進係)	審査委員会を開催し、各事業所の優れた取組みに対して適正に審査を行い、受賞事業所を決定しております。各受賞事業所の優良な取組みを幅広く知っていただけるよう、記載内容の見直しを検討し、ホームページや広報紙・SNSなどで周知してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	まだ3R賞審査委員会での適正な審査の上で受賞事業者を決定していることを追記しました。
7	3-2-1	委員A	職員向けの研修は、定期的に行った方がよい気がします。	環境政策課 (ごみ政策係)	公共施設から排出される事業系ごみの削減のため、引き続き、定期的に職員への研修及び啓発を行ってまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	全職員を対象とした研修を定期的を行うことを追記しました。
8	3-2-1	委員B	職員対象の研修を行う際には市役所のような事業者の場合は各人が住んでいる地域等とは異なる分別ルールであることを明確に説明してほしい。「自分の家では〇〇なので〇〇だと思っていた」という市役所職員等の声を耳にすることが多い。	環境政策課 (ごみ政策係)	事業系と家庭系では、性質が異なり、分別方法も違うということを分かりやすく伝えられるような工夫をし、公共施設から排出される事業系ごみの削減のため、引き続き、職員への研修及び啓発を行ってまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	引き続き分別方法の周知を行うとともに、家庭系ごみの違いや自治体によって排出方法が異なることについて周知を行うことを追記しました。
9	3-2-1	委員C	公共施設から排出される事業系ごみの削減に関しては、工夫をすればもっと実績をあげられるのではないかと考える。今年度はぜひとも工夫をこらして実施してほしい。	環境政策課 (ごみ政策係)	公共施設から排出される事業系ごみの削減につながる啓発を検討いたします。	有 <input checked="" type="radio"/>	
10	3-2-1	委員L	公共施設の事業系ごみの排出は、分別と共に削減も徹底して下さい。	環境政策課 (ごみ政策係)	公共施設から排出される事業系ごみの削減のため、引き続き、職員への研修及び啓発を行ってまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	
11	3-2-2	委員C	事業系生ごみの削減に向けて、現在の指標になっているフードバンクに関する情報提供や食べきり協力店認定数のほかにも、現在事業において生ごみを排出しており削減が期待できる事業があるのではないかと。そういった事業所に対して情報提供を行い、それもカウントしてほしい。	環境政策課 (3R推進係)	大規模事業所の立入検査時や少量排出事業者登録の現地確認時に食品リサイクルに関する情報提供を行い、協力をお願いしております。また、引き続き事業において生ごみを排出している事業者に対して情報提供を行い、実績にカウントしてまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	

基本方針3 事業系ごみの減量を進めます

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
12	3-2-2	委員D	事業系生ごみは、発生抑制(食品ロス対策)も重要ですが、食品廃棄物の資源化への取り組みなども改めて検討するとおなじみ。堆肥化施設などが十分に周辺に無いなど、実施が困難なケースもあると思われる。	環境政策課 (3R推進係)	大規模事業所の立入検査時に、厨芥類が多く出る事業所に対し、食品リサイクル施設への資源化や施設見学等の情報提供を引き続き行い、周知してまいります。	有 <input type="radio"/>	
13	3-2-2	委員K	事業系生ごみを削減するために、2019年度から続けているフードバンクに関する情報提供団体数と食べきり協力店認定数がなかなか増えていない。これらの取り組みは改善を加えた上で継続すべきだが、この二つだけに拘らずに新しいことに取り組みることが必要だと考える。食べ残しの削減が目的であれば、食べきり協力店に限らず、学校給食や企業の従業員食堂などに協力を求めるはどうか。また海老名市では、小規模事業所から発生する事業系生ごみの減量を促すために、事業所を対象に家庭用生ごみ処理機貸出事業と、家庭用生ごみ処理機購入費補助事業を行っている。金沢市では、事業用生ごみ処理機の購入費等補助制度があるなど、事業系生ごみを減らすために全国各地さまざまな取り組みがなされている。	環境政策課 (3R推進係)	学校給食は全て食品リサイクル施設へ搬入されており、ごみとして町田市バイオエネルギーセンターには搬入されておりません。事業所における社員食堂等の残さについては、前日申し込み制を導入して作りすぎを防止する等、食品ロスにつながる取組みを実施している事業所が多くなっております。また、他の自治体での取り組み事例を収集し、今後の取組みの参考としてまいります。	有 <input type="radio"/>	
14	3-2-2	委員L	フードバンクの活用ルートの構築と、食べきり協力店のメリットを検討して下さい。	環境政策課 (3R推進係)	フードバンクの活用ルートが構築できるよう情報収集してまいります。また、食べきり協力店に認定されることで、より多くの方にご利用していただくことがインセンティブにつながるため、周知方法を検討してまいります。	有 <input type="radio"/>	
15	3-2-2	委員F	食べきり協力店はもっと増やすべき。相模原のしゃぶ葉では食べ放題の店で残さず食べたら次回ドリンク無料券を配布しています。これは店の販促活動にもなり食べ残し削減に大きく貢献。このように町田市以外の良い事例を町田市の店舗に情報として話して、取り組み店舗を増やすべき。	環境政策課 (3R推進係)	各店舗ごとに依頼をしているため、飛躍的に増加することは難しいと考えております。市外の事例も情報収集し協力店の増加に努めてまいります。また、食品衛生講習会等で、更なる周知を行ってまいります。	有 <input type="radio"/>	
16	3-2-2	委員H	食品となっていない食材の端材などは、農家などに肥料の素材として提供するというのも一つかもしれません。食材として再利用となると、提供者としては食中毒を起されたら困るという不安がありますが、肥料にするのであればそういったリスクは企業からすると回避できると思えます。	環境政策課 (3R推進係)	市内で堆肥を活用している農家の方にお話を伺ったところ、堆肥を活用していた農家も代わり等により、化成肥料に変えるなどで堆肥の需要が減っており、肥料として活用するのは困難な状況です。	有 <input type="radio"/>	
17	3-2-2	委員H	食べきり協力店については、飲食店側も取組みやすいと思うので、食べきり協力店に登録することによるメリット、特に効果的な媒体での周知を引き続き行っていたらいいと思います。	環境政策課 (3R推進係)	食品ロス削減に貢献している店舗として認知されることでお店のイメージアップにつながります。引き続き、認知拡大に向けた周知方法を検討してまいります。	有 <input type="radio"/>	
18	3-2-3	委員D	紙類について、市内での受入再生事業者などへの案内も含めて、市としての啓発内容についても検討して欲しい。	環境政策課 (3R推進係)	紙類が多量に出るほとんどの事業所は、既に資源化に取組んでいます。一方で、少量の事業所は一定量溜め込んで置くことが難しいため、一般廃棄物として排出されてしまっているのが現状です。受入再生事業者に関する情報収集を行い、事業所に対して資源化しやすい環境を整えていけるよう検討してまいります。	有 <input type="radio"/>	
19	3-2-3	委員J	事業所により出るごみの中では、資源化できる紙類の排出が多いと思います。回収方法の検討が必要。	環境政策課 (3R推進係)	紙類が多量に出るほとんどの事業所は、既に資源化に取組んでいます。一方で、少量の事業所は一定量溜め込んで置くことが難しいため、一般廃棄物として排出されてしまっているのが現状です。事業所に対して資源化しやすい環境を整えていけるよう検討してまいります。	有 <input type="radio"/>	
20	3-2-3	委員L	事業系紙類の分別指導の徹底と、資源化可能な紙類の回収方法を検討して下さい。	環境政策課 (3R推進係)	紙類が多量に出るほとんどの事業所は、既に資源化に取組んでいます。一方で、少量の事業所は一定量溜め込んで置くことが難しいため、一般廃棄物として排出されてしまっているのが現状です。事業所に対して資源化しやすい環境を整えていけるよう検討してまいります。	有 <input type="radio"/>	
21	3-3-1	委員I	事業系ごみ手数料については、燃料費や人件費の高騰から必要に応じてやむをえないと考える。事業者も経費抑制からごみ減量に対する認識も変わってくるものと思われる。	環境政策課 (ごみ政策係)	社会情勢や周辺自治体の情報収集を行いながら、引き続き検討を行ってまいります。	有 <input type="radio"/>	

基本方針3 事業系ごみの減量を進めます

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
22	3-3-1	委員H	昨今の社会情勢に柔軟に対応するのも必要ですが、一度下げた手数料は上げるのが難しいかと思えます。手数料はもしかしたら近隣自治体よりやや高いけど他の付加価値を何か提供できる方向で検討していただければと思います。	環境政策課 (ごみ政策係)	社会情勢や周辺自治体の情報収集を行いながら、引き続き検討を行ってまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	
23	全体	委員D	全体としては、これも実際の廃棄物量の減量につながっているかという点で、どの施策が効果的かなど検討する必要があると考える。	環境政策課 (3R推進係)	次期アクションプランの策定を見据えて、それぞれの事業の効果検証を行ってまいります。	有 <input checked="" type="radio"/>	

基本方針4 環境に配慮した資源化施設を整備し、適正かつ安全な処理に努めます							
No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
1	4-1-1 4-2-1 4-3-1 2-2-2	委員D	容器包装プラスチックの全市分別回収が計画として進められているが、早急に製品プラについても、別途回収または一括回収なども含め検討を進めることが必要である。指標②硬質プラは技術的な対応では達成できないと考えます。	環境政策課 (ごみ政策係) 循環型施設管理課	現状では、近隣に製品プラスチックの中間処理を行える事業者がいませんが、事業者が見つかった場合は、製品プラスチックを込んだプラスチック類の分別収集・資源化を開始する予定です。 また、硬質プラスチックは手選別で実施しており、精度の向上は難しい状況です。容器包装プラスチックの全市分別収集が始まった後は、硬質プラスチックを取り出しやすくなり、精度は向上すると見込んでいます。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
2	4-1-1	委員K	充電式電池の選別を手作業から、風力選別やロールスクリーンによる機械選別に変更したことで、約3倍の充電式電池が選別された例もあるので検討が必要。	循環型施設管理課	風力選別等による機械選別については、容リプラ施設で実績がありますが、「燃やせないごみ」の選別には課題があるようです。 施設火災の原因となっているリチウムイオン電池等を「燃やせないごみ」から除去する仕組みについて、実験をおこないます。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
3	4-1-1	委員L	硬質プラスチックの選別のほかに、充電式電池の選別を追加する事は継続して下さい。	循環型施設管理課	引き続き充電式電池の選別を継続していきます。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
4	4-1-1	委員F	硬質プラの選別は機械化できないのでしょうか？現実的に見て人手を増やすことは今後継続的に行うのは厳しいうえ、改善できても上昇率とコストが合わないのでは？	循環型施設管理課	硬質プラスチックは資源化できる選別品目が限られており、機械による選別が難しいため、人による選別が必要な状況です。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
5	4-1-1 4-1-2	委員A	LiB対策として、新設備稼働以降の混入・除去状況や火災による被害状況を市民に周知し、課題意識を共有してもらうといった対応が必要ではないでしょうか。	循環型施設管理課	リチウムイオン電池等による火災で施設が甚大な被害を受けていること及び、リチウムイオン電池等、施設への混入本数や発火・発煙回数などの具体的な情報をHPに掲載し市民に周知します。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
6	4-1-1 4-1-2	委員A	LiB対策として、収集時に混入が確認された場合、収集せずにステッカーを貼って排出者に対処改善を促すといった対応が必要ではないでしょうか。	ごみ収集課	不適物の混入を確認し、かつ、排出者を特定できた場合は、対象者宅を訪問して案内チラシを配付するなど、改善を促しています。また、排出者を特定できない場合は、シールを貼って残置する対応をとっています。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
7	4-1-2	委員C	バイオガス化施設の整備について、現状や今後の見通し、市民の行動によって何がどうなるのかという具体的な情報を何度も市民に提供し、理解を促すことに注力する必要があります。	循環型施設管理課	バイオガス化施設には「燃やせるごみ」を投入しています。「燃やせるごみ」に「燃やせないごみ」や「有害ごみ」を混ぜないでいただくことが、施設の安定稼働につながることで、また火災による施設の被害状況や復旧までの見通しなどについて、様々な機会を通じて情報を提供し周知を図ります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
8	4-1-1 4-1-2	委員G	充電式電池混入による危険防止のため、整備運営の強化（分別作業員の増員もしくは市民への分別徹底）の必要性があるのではないのでしょうか。	循環型施設管理課	火災を受けて、コンバヤでの分別作業員を4名から6名に増員しました。作業スペースが限られるため、これ以上の増員は難しい状況です。 電池の分別など引き続き市民に周知します。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
9	4-1-1 4-1-2	委員I	充電式電池の混入数の多さは、想像をはるかに超えており作業の大変さを痛感した。市民への告知を、より端的に事態の重要性を強調して行ってほしい。	循環型施設管理課	リチウムイオン電池等による火災で施設が甚大な被害を受けていること及び、リチウムイオン電池等、施設への混入本数や発火・発煙回数などの具体的な情報をHPに掲載し市民に周知します。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
10	4-1-1 4-1-2	委員J	バイオガス化設備の停止（火災）について、復旧するまでの時間が1年以上という中で、何かできることはないか検討することを業者さんとの連携で進めていくことが必要ではないかと思います。	循環型施設管理課	施設火災の原因となっているリチウムイオン電池等を「燃やせないごみ」から除去する仕組みについて、実験をおこないます。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	

基本方針4 環境に配慮した資源化施設を整備し、適正かつ安全な処理に努めます

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
11	4-1-1 4-1-2	委員L	バイオガス化施設の修復工事に、初期消火設備などの火災防止策を検討して下さい。	循環型施設管理課	発火検知、延焼防止（散水設備等）を検討しており、火災対策を強化してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
12	4-1-1 4-1-2 (当日意見)	委員L	施設復旧の工程が決まっているのなら、スケジュール表に落とし込んでもいいのでは。	循環型施設管理課	スケジュール表に追加しました。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	2024年度事業計画スケジュール表に追加いたしました。
13	4-1-1 4-1-2 (当日意見)	委員C	バイオガス化施設の火災については、具体的な被害も大っぴらにして危機感を伝えるべき	循環型施設管理課	リチウムイオン電池等による火災で施設が甚大な被害を受けていること及び、リチウムイオン電池等、施設への混入本数や発火・発煙回数などの具体的な情報をHPに掲載し市民に周知します。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
14	4-1-1 4-1-2 (当日意見)	委員I	手選別を行って取り除かれた電池等の量など、混入数など数字を具体的に示して啓発するべきである。町内会等での周知も必要では。	循環型施設管理課	リチウムイオン電池等による火災で施設が甚大な被害を受けていること及び、リチウムイオン電池等、施設への混入本数や発火・発煙回数などの具体的な情報をHPに掲載し市民に周知します。また、町内会・自治会には市民生活連絡会において周知をお願いしました。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
15	4-1-2 (当日意見)	委員A	バイオガス化施設の停止は、資源化量やCO2にどの程度の影響を与えたか。また、今後与えるか。	循環型施設管理課	2022年度は、バイオガス化施設での資源化約1065トン、CO2削減効果は約745トンでした。施設の復旧を2025年7月ごろと見込んでおり、施設停止約20ヶ月間の影響として、資源化量が約1800トン、CO2削減に約1240トンの影響を与える見込みです。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
16	4-1-3	委員D	計画が延期されていることから、容器包装だけでなくプラスチック全体の資源化について早急に検討することが求められる。	環境政策課 (ごみ政策係)	現状では、近隣に製品プラスチックの中間処理を行える事業者がいませんが、事業者が見つかった場合は、製品プラスチックを含んだプラスチック類の分別収集・資源化を開始する予定です。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
17	4-2-1	委員C	収集体制の見直しに関しては、市民にとっても、また、町田市の廃棄物行政の今後にとっても、非常に重要で大きな変化であると考えられることから、市民への情報提供の工夫も含めてできる限り適切な制度設計を行ってほしい。	ごみ収集課	収集体制の見直しは、事業者ヒアリング結果なども参考にしつつ、丁寧に進めます。併せて、市民にとって分かり易い周知方法を検討していきます。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
18	4-2-1	委員D	危険物（LIBなど）混入対策なども早急な検討が必要と考えます。	ごみ収集課	小型充電式電池の混入を防ぐため、「充電式小型家電」について、8月から新たに行政収集を開始します。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
19	4-2-1	委員I	収集体制の週5日収集への移行は社会情勢などからやむを得ないと考えます。実施にあたっての告知の方法や内容が重要だと思ふ。	ごみ収集課	週5日収集に移行する場合は、全戸配付する「資源とごみの収集カレンダー」を中心に、市民が混乱しない事前周知方法を検討します。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
20	4-2-1 5-2-1	委員K	「資源の個別収集については（中略）引き続き検討」ということだが、ドライバー不足問題の解決の見通しが立たない中、いつまでも検討を続けるのではなく、検討期限を決めるべき。その期限が来てから代替案の検討に着手するのではなく、資源の個別収集に代わるプランBをあらかじめ検討しておくことも必要。前々回の審議会で市から「資源の個別収集と週5日収集は同時に変更したい」という説明があったので、資源の個別収集の検討を続けている限り、いつまでも週5日収集に移行できないことになる。資源の個別収集の最大の目的が高齢者の負担軽減ということであり、ドライバー不足で実現の見通しが困難なことから、戸建て住宅の高齢者だけが恩恵を受ける個別収集ではなく、ふれあい収集事業を拡充して解決をする以外に方策はないと考える。	ごみ収集課	戸別と週5日収集の別時導入や、ふれあい収集の活用方法など、ご意見を参考に引き続き検討を進めます。「高齢者等に対応した収集体制の検討」については、課題が多いことを認識しております。今後は実現の可能性も含め検討し、実現可能な改善策を模索してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
21	4-2-1	委員L	収集体制の見直しに関しては、実施に向けて事業者との協議を継続して下さい。また、デジタル技術を導入して、収集作業の効率化を図る事も検討して下さい。	ごみ収集課	収集事業者やデジタル技術開発事業者へのヒアリングも行いつつ、検討を進めます。	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

基本方針4 環境に配慮した資源化施設を整備し、適正かつ安全な処理に努めます

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
22	4-2-1	委員J	新しくなるごみの分別の仕方の冊子の中身の検討	ごみ収集課	2026年度に開始する容器包装プラスチックの全市分別収集開始にあたり、チラシや「資源とごみの収集カレンダー」などで、イラストや写真などを交え市民のみなさまへ分かりやすくお知らせいたします。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
23	4-3-1	委員B	事業者や団体が行っているプラスチック製品等の回収をリサイクル広場や公共施設、小売店等と協力しながら推進していくことを今後も進めていただきたい。	環境政策課 (3R推進係) (ごみ政策係)	事業者や団体が独自に実施しているプラスチック製品等の回収について事例研究を続け、連携の可能性を探っております。現在行っている取り組みについても、引き続き各種協力団体と連携しながら推進してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
24	4-3-1	委員B	落ち葉は異物混入の確認に手間がかかると思うが受入れ量が増えることに期待したい。	循環型施設管理課	異物混入状況の確認を引き続き行い、落ち葉の資源化に努めてまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
26	4-3-1	委員L	食用油の再資源化を検討して下さい。	環境政策課 (3R推進係)	廃食用油はリサイクル広場(常設・移動)で回収し飼料として再資源化しています。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
27	4-3-1	委員F	紙おむつのリサイクルは今後非常に重要なプロジェクトです。是非進めていただき、成功に繋げてほしい。回収に関しても販売店や企業側もSDGZにつながるの協力をします。	環境政策課 (ごみ政策係)	紙おむつのリサイクルについては、運搬可能な範囲に資源化施設が存在しないことが関東地方において実施する場合の共通課題となっております。国や都、関連事業者との意見交換や排出実態の調査を続けてまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	

基本方針5 社会的課題への対応を強化します							
No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
1	5-1-1	委員I	災害時の計画は、災害の規模などがかなり異なるので計画を作成すること自体がかなり難しい。国・都・周辺自治体との連携も必要でどこまでできるのでしょうか？「絵にかいた餅」にならないようにしてほしい。	環境政策課 (ごみ政策係)	「町田市地域防災計画」及び「町田市災害廃棄物処理計画」においては、首都直下地震の中でも町田市に被害が大きい多摩直下地震の被害想定をもとに作成しています。国や都の災害対応への意識も高まっており、研修会や勉強会が複数開催され、都度意見交換をしております。計画が実効性のあるものとなるようにしてまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
2	5-1-1 5-1-2 5-1-3	委員D	2023年度仮置き場レイアウトの検討、実動訓練を実施され、2024年度には仮置き場設定を計画に取り込むとのことは大変望ましいことである。市民への災害時対応への周知も進み改善が進んでいることは大変良い。災害時の協定締結も進んでおり良い。	環境政策課 (ごみ政策係)	「町田市災害廃棄物処理計画」がより実効性があるものとなるようにしてまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
3	5-1-1 5-1-2	委員G	災害時等のゴミ処理に関し、町田市災害廃棄物処理計画があるが、この内容について協定締結会社との共有ができていないのではないのでしょうか。	環境政策課 (ごみ政策係)	2023年度から、協定締結事業者の皆さまと一緒に訓練を始めることができました。発災時に迅速に連携ができるように、訓練内容をブラッシュアップしてまいります。また、「町田市災害廃棄物処理計画」については2024年度に修正を予定しています。修正が完了したら改めて協定締結事業者へ共有いたします。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
4	5-1-2	委員C	今後も増えると予測される災害に関して、教育や訓練にはぜひとも力をいれてほしい。	環境政策課 (ごみ政策係)	2023年度から、協定締結事業者の皆さまと一緒に訓練を始めることができました。発災時に迅速に連携ができるように、訓練内容をブラッシュアップしてまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
5	5-1-2	委員G	実動訓練の実施結果の評価を記載したほうがいいのではないのでしょうか。	環境政策課 (ごみ政策係)	2023年度の訓練で得た課題について、2024年度の事業計画へ記載しました。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2023年度の訓練で得た課題について、2024年度の事業計画へ記載しました。
6	5-1-2	委員L	災害ごみの種類や量は、建物の構造種別や耐震性能によって地域差が出ると思われるので、それを考慮した計画を構築して下さい。また、災害時の高齢者等のごみ出し支援の検討も必要です。	環境政策課 (ごみ政策係)	災害廃棄物の発生量は、町田市の建物構造種別等の状況に応じて算出しております。災害時の高齢者等のごみ出し支援については、ボランティアの支援体制等、関係部署や社会福祉協議会と連携して対応します。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
7	5-1-3	委員A	災害廃棄物への対応については、今回の能登半島地震に際しての応援派遣のように、現場での経験も踏まえて体制の整備や訓練などに活かすとよいのではないのでしょうか。	環境政策課 (ごみ政策係)	これまでの被災地への派遣経験者の意見を取り入れながら、体制の整備や訓練などを進めてまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
8	5-1-3	委員L	災害ごみを運搬する道路の確保に関しては、担当部署と連携して下さい。	環境政策課 (ごみ政策係)	道路の確保を担当する道路部と合同で毎年訓練を実施しています。また道路の確保は、災害廃棄物処理に先んじて行われる計画となっております。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
9	5-2-1	委員B	高齢者への対応としては、粗大ごみだけではなく通常のゴミ出しについても困難が生じている事例を聞く、福祉の部署との連携等も含めて検討していく必要があると思う。	ごみ収集課	「高齢者等に対応した収集体制の検討」については、課題が多いことを認識しております。今後は実現の可能性も含めて検討してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
10	5-2-1	委員D	高齢者等への収集対応は、簡単に解決はできないが、高齢化の急激な進行に合う収集方法の検討を進める必要がある。	ごみ収集課	引き続き福祉の部署と連携しながら事業を進めていきます。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
11	5-2-1	委員I	高齢者に対応した収集体制は、今後の高齢化の急速な進展を考えると早急に検討すべき課題だと思われる。個別収集がベストだが課題も多いと思われる。	ごみ収集課	「高齢者等に対応した収集体制の検討」については、課題が多いことを認識しております。今後は実現の可能性も含めて検討し、実現可能な改善策を模索してまいります。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
12	5-2-1 4-2-1	委員F	物流問題・働き手問題でコストと継続できるかを10年先まで考えて決めてほしい。少子化や高齢化で単身者が必ず増えます。人口が同じであれば世帯数が増えて回収世帯が増えます。	ごみ収集課	物流問題・働き手問題の影響は収集事業者が特に強く受けると思われます。事業者へのヒアリングなどを重ねつつ、収集体制の見直しを進めていきます。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	

基本方針5 社会的課題への対応を強化します

No.	施策番号	委員名	意見	担当課	回答	2024年度事業計画への反映	「有」の場合 反映内容
13	5-3-1	委員L	無許可の不用品回収業者の識別法を明示して下さい。	環境政策課 (3R推進係) ごみ収集課	市が家庭系臨時ごみ許可を出している業者以外はすべて無許可業者となります。市が許可している業者は、資源とごみの出し方ガイド等でご案内しております。市民に対し、チラシを投函したり流しの回収業者は、高額請求等の危険があることを継続的に周知していきます。また、無許可の不用品回収業者とトラブルになった際の連絡先などを市ホームページに掲載しています。ごみ分別アプリや資源とごみの収集カレンダーなどでも引き続き注意喚起をまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
14	5-3-1 (当日意見)	委員K	ごみ分別アプリに不用品回収業者について掲載したらどうか。	環境政策課 (3R推進係)	ごみ分別アプリやSNSで無許可の不用品回収業者についての注意文を掲載いたしました。今後も、アプリや情報媒体等で周知啓発を行ってまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
15	5-3-2	委員M	啓発看板やちらしの管理が行き届いていない状況（例えば、看板が傾いていたり、落書きされているなど）は、逆に、人の目が行き届いていないことを表してしまうため、注意が必要である。	ごみ収集課	日常行っているパトロールで集積所や不法投棄防止の看板の状態をチェックし、異常があれば即時対応しています。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
16	5-3-3	委員A	美化推進とは直接関係ありませんが、美化のキャンペーンの際にも、LIBの問題について話題にして、市民向けの啓発を進めるとよいのではないのでしょうか。	環境政策課 (3R推進係) 環境共生課	リチウムイオン電池等による火災を防止するため、出前講座やイベント出展時に啓発を行っています。6月27日に行った成瀬駅美化キャンペーンでも、リチウムイオン電池の問題について周知を行いました。引き続き、美化のキャンペーンの際などの市民と接する機会に啓発を行ってまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
17	5-3-3	委員D	美化関連は十分行われているが継続することを期待する。	環境共生課	引き続き、美化活動を実施してまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
18	5-3-4	委員B	持ち去りに関しては市民だけでは対応できずトラブルが発生することが多い。困ったときにはすぐに連絡してもらおうように繰り返しお知らせしてほしい。	ごみ収集課	市ホームページに対応方法を掲載しています。またSNSなどでも適宜、お知らせしていきます。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
19	5-3-4	委員C	持ち去り行為については、全市をまんべんなくパトロールするのは難しいと思う。しかし、おそらく持ち去られる場所（持ち去りやすい場所）は決まっているように思うので、そういった地区を重点的にパトロールをすると同時に、持ち去り者とトラブルにならないよう、市民にも持ち去り現場を見た場合にどのように行動すればよいのかなどのマニュアルを提供して、対策をしてほしい。	ごみ収集課	パトロールは市民からの情報提供があった地区を重点的に行っています。また、市民が持ち去り現場を発見した場合は、自身で対応せず、市に通報してもらうようホームページなどで案内しています。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
21	全体	委員J	問題が多すぎて、自分でも何から考えればよいのかわからない状態です。国・都・近隣自治体との情報の共有も大切になってくると思います。	環境政策課 (ごみ政策係)	社会的課題の対応は、地域ごと対応に加え、広域的な対応も必要だと考えます。国・都・近隣自治体との情報共有をしながら、取り組んでまいります。	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	